



- 「国の第 5 次男女共同参画基本計画と 2022 年度予算案について聞く会」報告
前進したかに見えるジェンダー関係予算 2
2 月 24 日、25 日、市川房枝記念会女性と政治センター主催で、恒例の上記の聞く会がオンラインで開催されました。加藤登紀子さんにより、省庁ごとのジェンダー関係予算にあたる項目が抽出され予算額など内容も示されています。これを見る限り、単に男女を対象とする予算が大半を占めていた時代から前進したかにみえます。北京 JAC の主要な活動の一つ概算予算を聞く活動が休止状態ですが、注目し今後の活動に活かしたいと思います。

- ダーバン+20：反レイシズムはあたりまえキャンペーンシンポジウム報告
「みんな違って、みんないい」に違和感あり！
— 「ダイバーシティ」でホントにいいの? 4
ダイバーシティ流行の現状に対する警告の上記シンポジウムが 2 月 19 日全国規模で開催されました。差別とは何か、マジョリティの特権とは出口真紀子さん（上智大学）は多文化共生ではなく、なぜ多民族共生が重要なのか、弁護士丹羽雅雄さんの戦前戦後の日本の外国人、民族的マイノリティ政策の詳細な内容から船橋邦子さんが重要だと思われる問題をまとめました。

- ドラマ『新聞記者』とポスト・トゥルース社会 5
国の内外で評判になっている、Netflix 世界同時配信の『新聞記者』。これは真相究明の道がとざされた森友問題をテーマとした内容ですが、この配信に海外メディアは注目し、取り上げようとしない大手メディアを批判しています。大嘘がまかり通るようになった現在、フィクションの力で本質に迫ろうとした作品と石田久仁子さんによる紹介です。

- 北京行動綱領の検証 ⑦ 女性の地位向上のための制度的な仕組み
自治体と国の動きから検証する 6
検証していただいた小山内世喜子さんは、青森県から北京会議に参加し、地域で男女共同参画の推進に取り組み 2016 年からは政府の「重点方針専門調査会の専門委員として活躍されている優れた女性リーダーのお一人です。小山内さんの目から見た北京行動綱領と自治体、国の動きです。

- オンライン学習会、世話人会、加盟団体ほか 8